

A decorative graphic on the left side of the slide, featuring a series of overlapping squares in various shades of blue and purple, creating a stepped, staircase-like effect. The squares are arranged in a way that they appear to be receding into the distance.

2008年3月期決算

2008年6月24日

稲畑産業株式会社

2008年3月期決算総括

<ポイント>

- ❑ 液晶関連を中心とした情報電子事業に加え、OA、さらには家電、自動車関連向け合成樹脂事業が好調
- ❑ 売上高は対前期比7.3%増の5,000億円
- ❑ 営業利益は、貸倒引当金繰入などの費用増により対前期比微増の76億円
- ❑ 経常利益は、為替差益や配当増により、対前期比6.4%増の77億円
- ❑ 純利益は対前期比△36.1%の29億円
⇒主に当社、及び連結子会社で一部の取引先への会計手当などを当期に実施したため

連結	2007年度 3月末	2008年度 3月末	対前期比
売上高	4,660億円	5,000億円	7.3%
営業利益	76億円	76億円	0.7%
経常利益	73億円	77億円	6.4%
純利益	45億円	29億円	△36.1%
1株当り純利益	72円76銭	44円98銭	

2008年3月期 B/S

①増収に伴う売上債権の増加

②保有する投資有価証券の時価下落

単位：百万円

(資産の部)	07/03	08/03	増減	(負債／純資産の部)	07/03	08/03	増減
現金及び預金	6,981	6,716	△265	支払手形及び買掛金	101,169	101,876	706
受取手形及び売掛金	141,907	155,019	13,112	短期借入金	55,506	67,469	11,962
棚卸資産	29,458	31,419	1,960	その他流動負債	8,518	10,321	1,803
その他流動資産	11,173	8,773	△2,400	長期借入金	15,643	10,547	△5,096
有形固定資産	16,615	14,780	△1,834	その他固定負債	23,079	16,260	△6,819
無形固定資産	3,439	3,682	242	株主資本	51,817	54,607	2,789
投資有価証券	72,043	57,581	△14,462	評価・換算差額等	30,912	22,516	△8,396
その他固定資産	6,191	6,666	475	その他純資産	1,162	1,040	△122
資産合計	287,808	284,637	△3,171	負債純資産合計	287,807	284,637	△3,171

2008年3月期 事業セグメント別売上高

情報電子 ⇒ 対前期比 14.5% 236億円増

- ✓ フラットパネルディスプレイ(FPD)関連、特に液晶関連商品が伸長
- ✓ 複写機関連では、カラー機の伸長により周辺部材が好調

化学品 ⇒ 対前期比 3.4% 24億円増

- ✓ 機能化学品では樹脂原料・樹脂添加剤などが伸長したほか、自動車関連向けのアラミド繊維、シリコン樹脂も輸出を中心に堅調
- ✓ ライフサイエンス関連では、医薬品の製剤用原料が好調

合成樹脂 ⇒ 対前期比 8.3% 142億円増

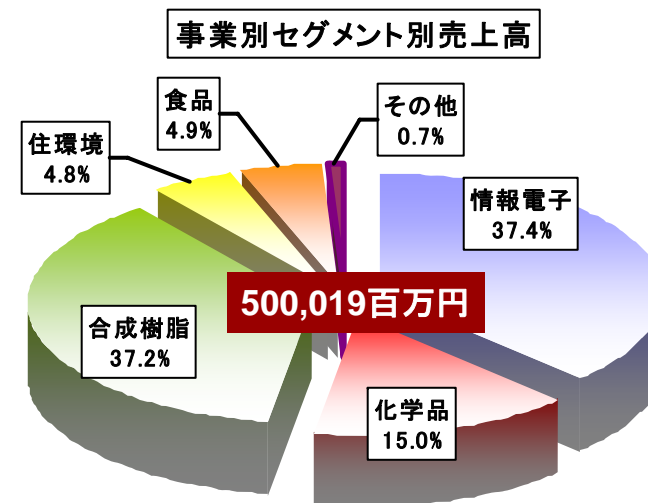
- ✓ 原油高、ナフサ高の影響はあるものの、自動車関係を中心に好調
- ✓ タイ、シンガポールを中心にアジアでのビジネスが伸長

住環境 ⇒ 対前期比 △4.7% 11億円減

- ✓ 2007年6月の建築基準法の改正に伴う住宅市場の低迷により、住宅着工が急減したものの、個別テーマの進展もあり微減

食品 ⇒ 対前期比 △14.7% 41億円減

- ✓ 国内販売の競争激化から価格転嫁が難しく、厳しい展開
- ✓ 今後はすし商材の拡販、ブルーベリーなど冷凍パック品の拡販、さらに北米、南米など産地の開拓を図る



2008年3月期決算		
	売上高(百万円)	前期比(%)
情報電子	186,866	14.5
化学品	75,014	3.4
合成樹脂	186,105	8.3
住環境	23,886	△4.7
食品	24,390	△14.7
その他	3,756	△22.2
合計	500,019	7.3

2008年3月期 事業セグメント別営業利益

情報電子 ⇒ 対前期比 $\Delta 0.6\%$ 0.1億円減

- ✓ 利益率の低い商品の増加により伸び悩み

化学 品 ⇒ 対前期比 **43.9%** 2.8億円増

- ✓ 機能化学品やライフサイエンス関連の伸長により、利益も増加
- ✓ 染料事業は、合理化により収益改善

合成樹脂 ⇒ 対前期比 **9.4%** 2.7億円増

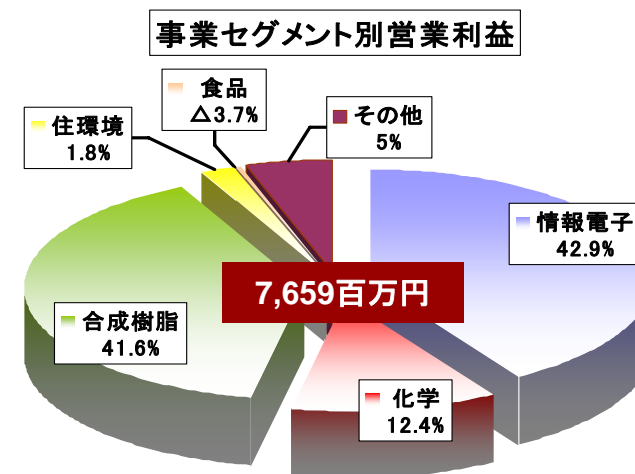
- ✓ タイ、シンガポールを中心に、特に東南アジアでの収益が大きく伸長

住 環 境 ⇒ 対前期比 **76.2%** 0.6億円増

- ✓ 利益率重視の取り組みにより、採算性が向上

食 品 ⇒ 対前期比 $\Delta 186.0\%$ 6.1億円減

- ✓ 畜産をはじめとする在庫の処理が大きく響き苦戦

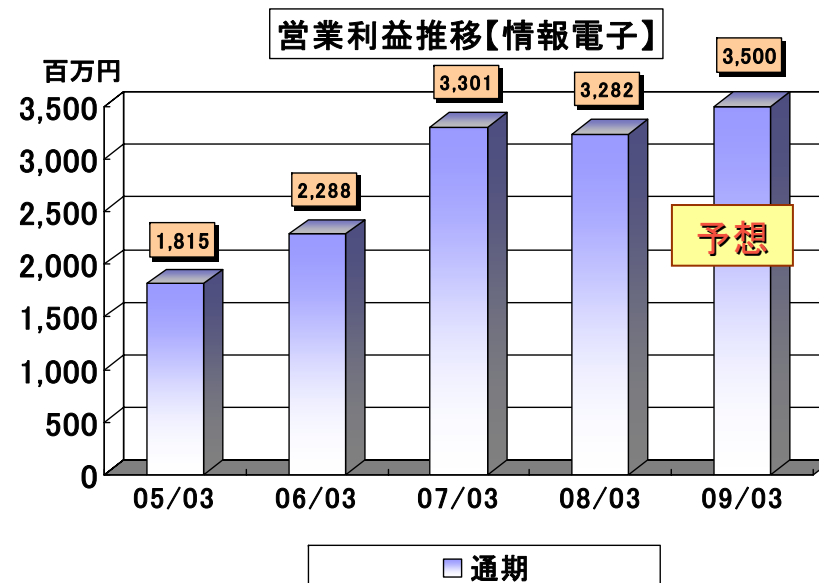
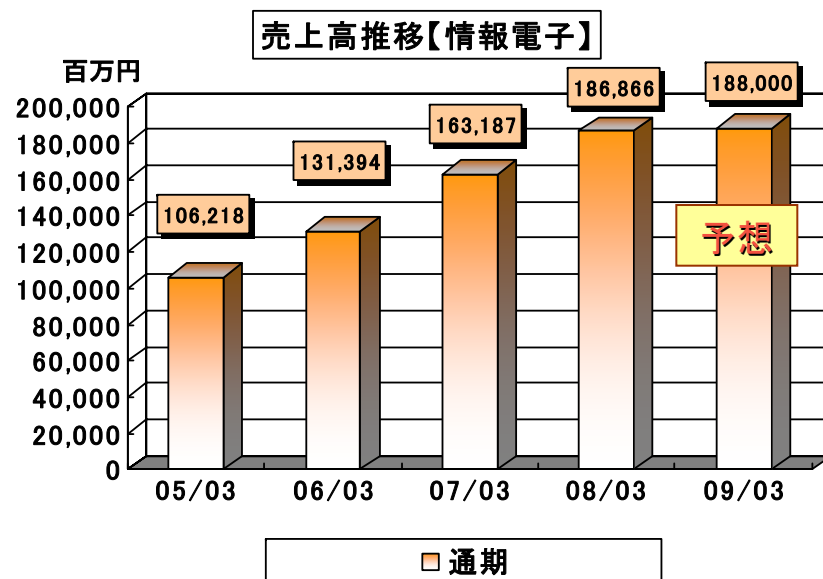


2008年3月期決算		
	営業利益(百万円)	前期比(%)
情報電子	3,282	$\Delta 0.6$
化学 品	947	43.9
合 成 樹 脂	3,182	9.4
住 環 境	140	76.2
食 品	$\Delta 283$	$\Delta 186.0$
そ の 他	389	$\Delta 18.2$
合 計	7,659	0.7

2008年3月期 主要事業の個別概況(情報電子)

売上高 対前期比 14.5% 236億円増加

- FPD関連、特に液晶関連商品が引き続き伸長
- カラー機の伸長により、周辺部材が好調
- 電子部品用PETフィルムが大幅増加
- 利益については伸び悩み



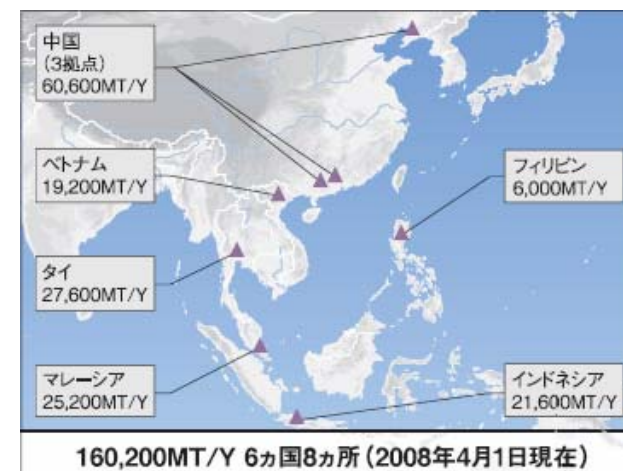
'09年3月期の数字はあくまで予想であり将来にわたり環境などの変化により数字は変動致します

2008年3月期 主要事業の個別概況(合成樹脂)

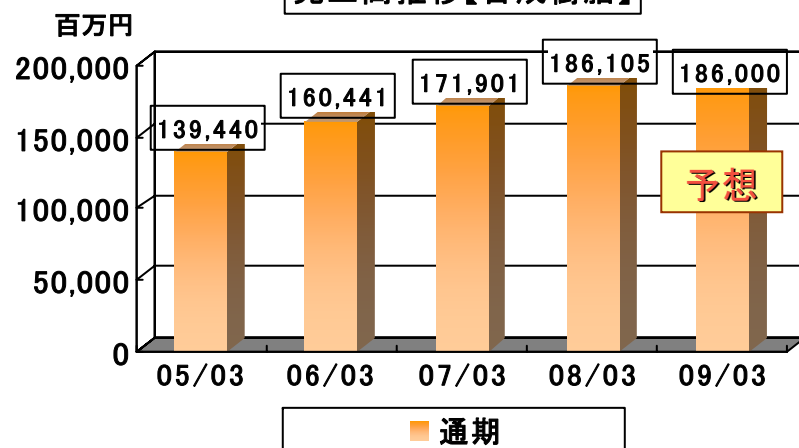
売上高 対前期比 8.3% 142億円増加

- 依然、原油高・ナフサ高が続き、原料の値上がり傾向にあり、内需の力強さに欠けたものの好調
- タイ、シンガポールを中心に、アジアでのビジネスが伸長
- 利益についても、増益が続く

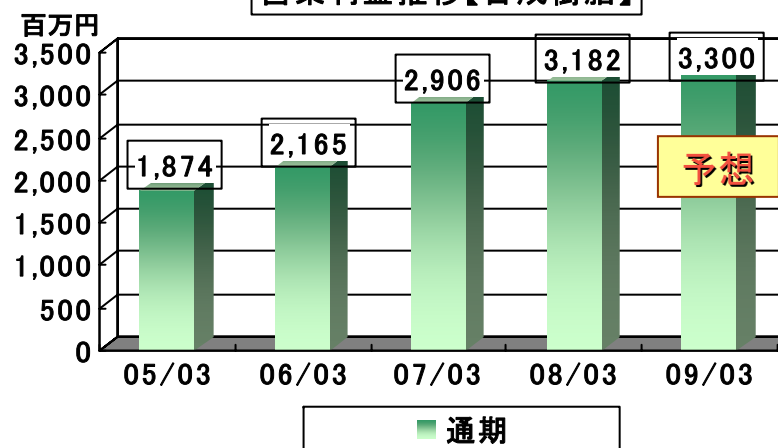
樹脂コンパウンドの年間生産能力



売上高推移【合成樹脂】



営業利益推移【合成樹脂】



'09年3月期の数字はあくまで予想であり将来にわたり環境などの変化により数字は変動致します

2008年3月期 地域別概況

東南アジア ⇒ 対前期比 19.0% 122億円増

✓ 成長を続ける好調な域内経済に支えられ総じて好調

北東アジア ⇒ 対前期比 16.6% 110億円増

✓ 前期の流れを引き継ぎOA家電向けなどの合成樹脂販売が堅調。

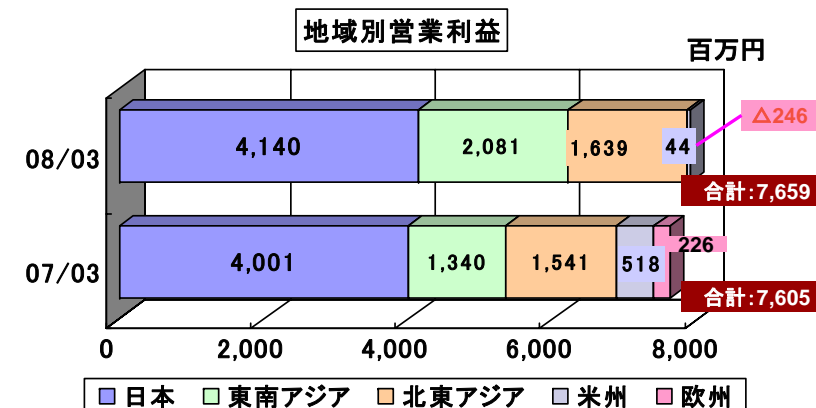
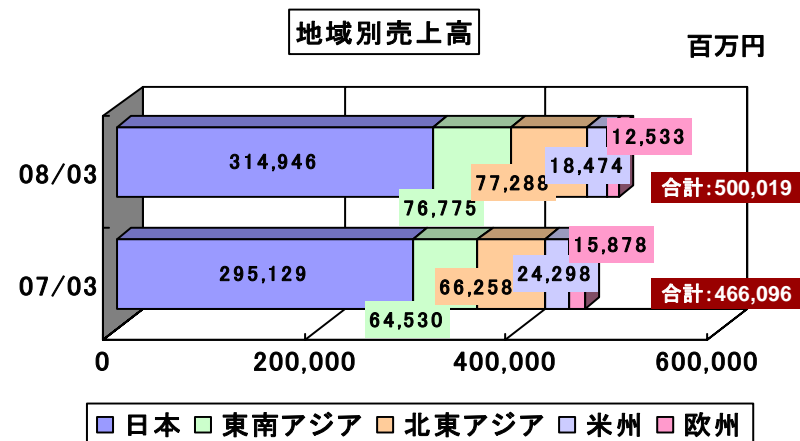
✓ 情報電子分野では、液晶関連商品が大幅に伸長

米州 ⇒ 対前期比 Δ 24.0% 58億円減

✓ 個々に順調な展開も見られたが、グループ会社の経営の見直しなどから厳しい状況となった

欧州 ⇒ 対前期比 Δ 21.1% 33億円減

✓ 個々のテーマは概ね順調だったが、ニトロセルロース製造子会社の不振によりトータルでは厳しい結果となった



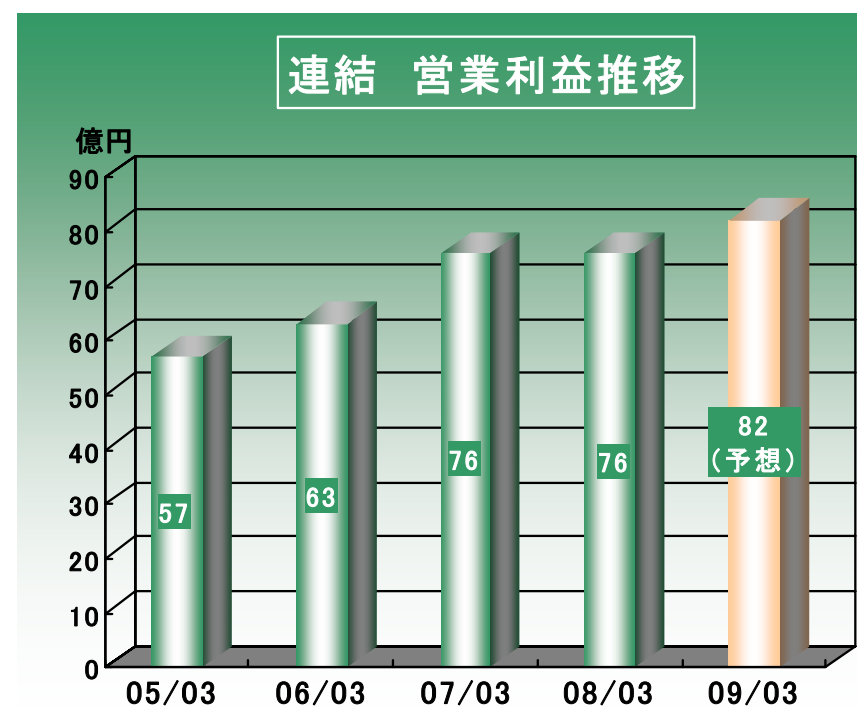
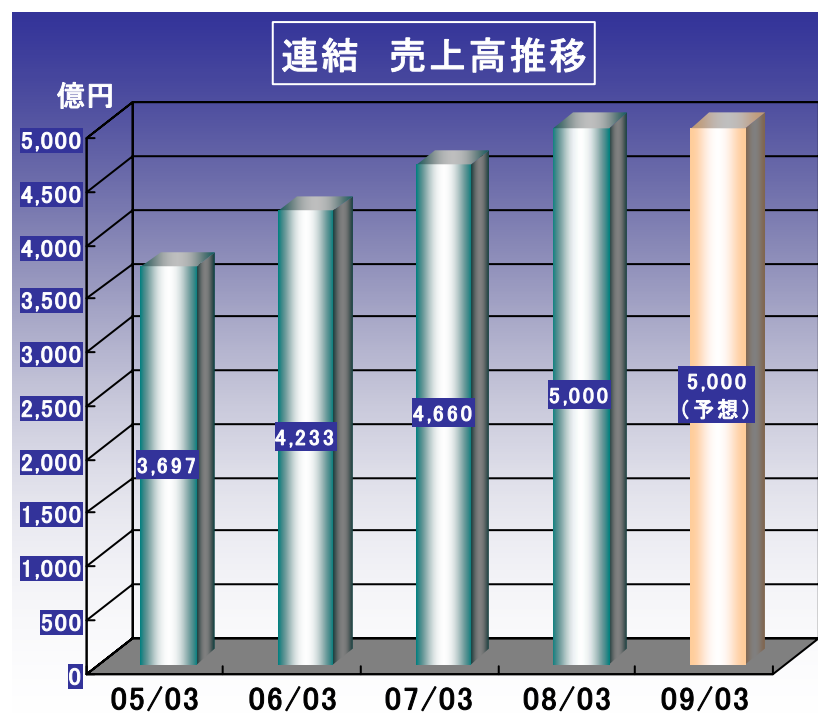
2008年3月期 連結子会社概況

- 事業の再構築を進め、シナジー効果の薄いSHREDDER COMPANY LLC(メタルリサイクル業)他を持分譲渡により連結から除外

	連結子会社状況(内訳)		
	国内	海外	合計
連結子会社	13	36	49
持分法適用関連会社	3	4	7
合計	16	40	56

■ 売上高と営業利益の推移と見通し(04年3月期～09年3月期)

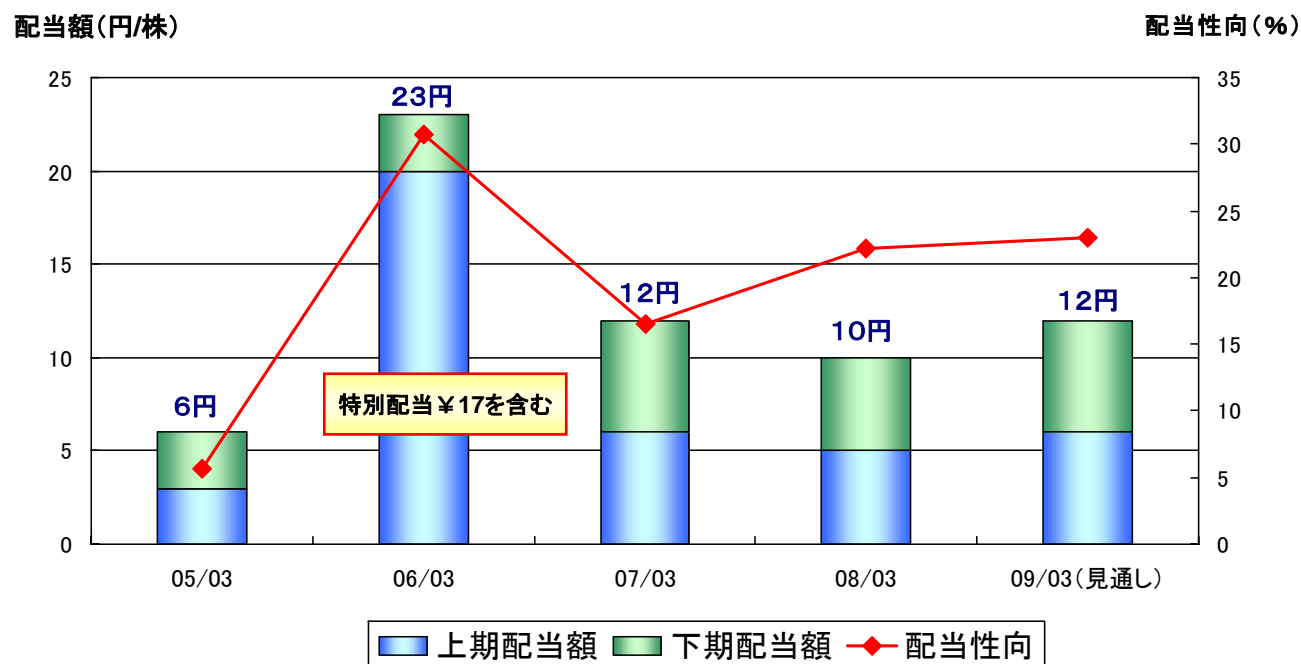
- 引き続き主力の情報電子、合成樹脂を中心に積極的かつグローバルな事業展開を推進
⇒ 営業利益は、5期連続(05年3月期～09年3月期)で過去最高の見通し



'09年3月期の数字はあくまで予想であり将来にわたり環境などの変化により数字は変動致します

株主への還元

- 事業収益やキャッシュ・フローの状況などを勘案し、連結純利益の20%~30%(従来:15%~20%)程度を目安とし、今後の企業価値向上に向けての中長期的な投資などを考慮しつつ総合的な判断で決定。
- 利益水準に関わらず、原則として1株あたり最低限年間10円(従来は6円)の配当金の維持に努める



今後の方針

- ▶ シナジー効果の実現を重点に置いた事業の再構築を推進
- ▶ 新規投資については、資本コストを踏まえた具体的な基準を設定し運用する
- ▶ 内部統制システムの整備に注力し、グループ会社を含む全社員で内部統制の推進を図る
- ▶ 引き続き国内外の連結経営を強化、収益力の向上、人材の育成に一層注力する